



# 広島県内経済情勢報告


～広島県の経済情勢について～

令和5年7月26日  
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】  
中国財務局経済調査課  
電話 (082) 221-9221

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」









項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	緩やかに回復しつつある	

（注）5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、外出関連消費が好調なことや、インバウンドの回復により緩やかに回復しつつある。生産活動は、半導体不足の緩和による自動車関連需要の回復などから緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年4月判断）	今回（5年7月判断）	前回比較
個人消費	持ち直している	緩やかに回復しつつある	
生産活動	足踏みの状況にある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	4年度は増益見込み	5年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じる	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、G7 広島サミットの影響により前年を下回っている。家電販売は、エアコンなどが低調であり、前年を下回っている。スーパー販売、コンビニエンスストア販売は、外出関連商品などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- ラグジュアリーは引き続き好調。外出して人と対面する機会が増えたため、化粧品やビジネススーツなどが好調となっているほか、インバウンドも売上に寄与している。ただし、G7 広島サミット中は交通規制等により売上が減少した。（百貨店）
- 気温が例年より低めに推移したため、エアコンが低調となっている。また、消費が行楽等の外側に向いているため、客数が減少していることや、物価高の影響で購入について慎重になる傾向が見られており、販売台数が下向きとなっている。（家電量販店）
- コロナ禍で耐久消費財の買い替え需要が概ね一巡したことや、値上げの影響による、まとめ買いの減少などから、売上高は前年割れとなっている。（ホームセンター）
- 外出が増え、キャリーケースやスニーカーなどの外出関連用品の需要が好調なうえ、物価の上昇もあり客単価が上がっているため、売上が好調となっている。（スーパー）
- 外出時に簡単に食べられる、おにぎりやドリンクなどが好調となっている。観光地を中心にインバウンド客が増加傾向となっている。（コンビニエンスストア）
- 半導体不足の緩和により完成車メーカーからの供給が増えたことから、納車待ちの状況が解消されつつあり、登録台数が前年を上回っている。（自動車販売）
- 旅行需要は依然として好調で、外国人観光客も増加しており、客室稼働率は高い水準で推移している。飲食店もコロナ前を超える盛況となっている。（宿泊業・飲食サービス業）

### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

一般機械は、コロナ特需で需要のあった医療関係向けの受注減などから減少している。電気機械は、中国向けの電子部品需要の回復に遅れがみられることなどから減少している。一方、輸送機械は、半導体不足の緩和により、増加している。プラスチック製品、鉄鋼は、自動車向けの需要回復により、増加している。このように、生産活動は、全体では、緩やかに持ち直しつつある。

- コロナ特需で需要のあった医療関係向けなどからの受注が低下しているほか、EV を除く中国向けの需要が回復しておらず、生産が減少している。（一般機械）
- 中国の不動産市況の回復に遅れがみられることなどから、建設向けの需要が減少している。（電気機械）
- G7 広島サミット中は操業を停止したものの、半導体不足の影響が緩和されつつあることから、生産が増加している。（輸送機械）
- 半導体不足の影響が緩和されてきたことにより、自動車メーカーの生産が回復していることから、自動車向けの受注が回復している。（プラスチック製品）（鉄鋼）

### ■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しており、新規求人数は増加していることなどから、持ち直している。

- 慢性的な人手不足のため、ベアなどによる賃上げをしているものの、同業他社より給与水準が低めであるためか、人が集まらない。（その他の輸送用機械）
- 主に新規出店の影響で、特に正社員が不足している。パート・アルバイトは慢性的に不足。（小売）
- 資源価格の高止まりによるコスト増加から、製造業では求人を探る動きが見られている。（公的機関）

■ **設備投資** 「5年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業では、「生産用機械」などで増加するものの、「その他製造業」、「化学」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「建設」などで減少するものの、「運輸、郵便」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 前年度実施した大型投資(工場建設)の反動減。(その他製造業)
- 需要の増加に対応するための物流拠点整備を実施。(運輸、郵便)

■ **企業収益** 「5年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 製造業では、「非鉄金属」などで減益となるものの、「自動車」、「生産用機械」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「小売」、「建設」などで増益となるものの、「運輸、郵便」、「情報通信」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、持家、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、鉄鋼が減少しているものの、自動車、船舶などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジアなどで減少しているものの、北米、西欧などで増加している。  
なお、輸入(円ベース)は、電気機器、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。

# 広島県内経済情勢報告

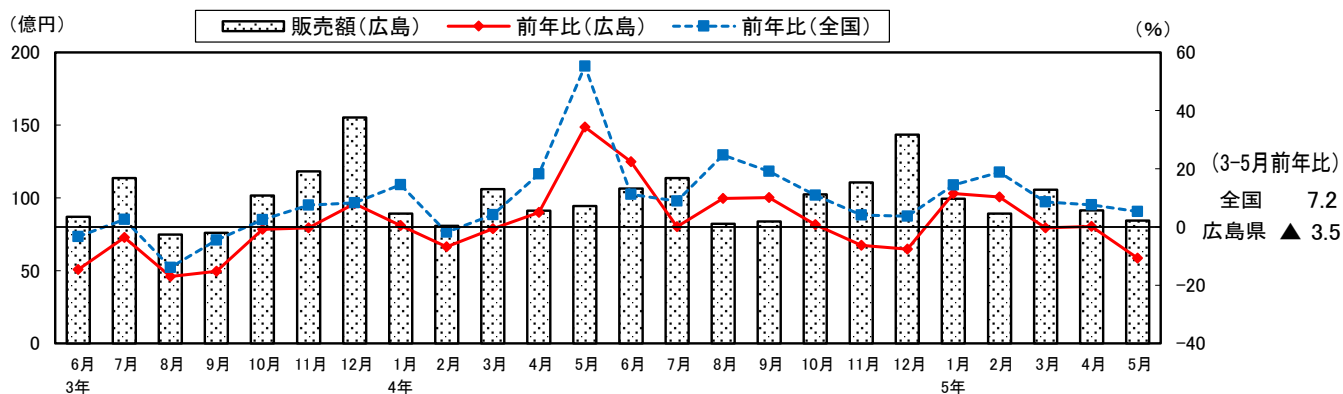
(令和5年7月26日)

## 資料編

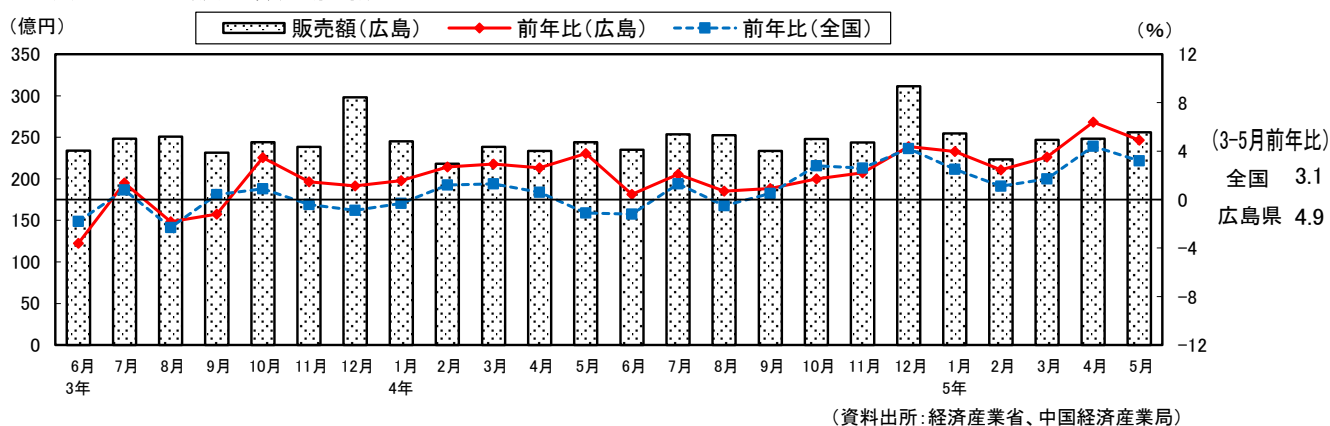
	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

# 1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

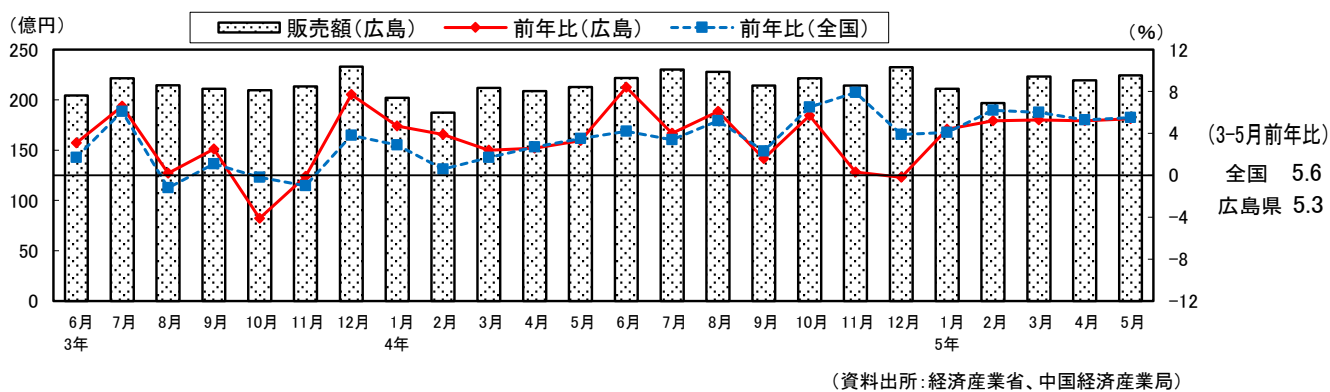
## (1) 百貨店販売額(全店舗)



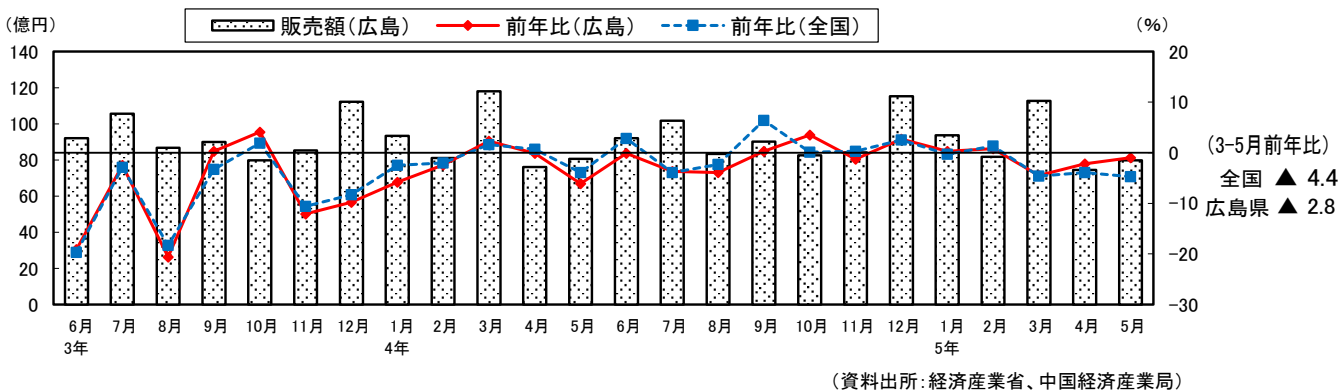
## (2) スーパー販売額(全店舗)



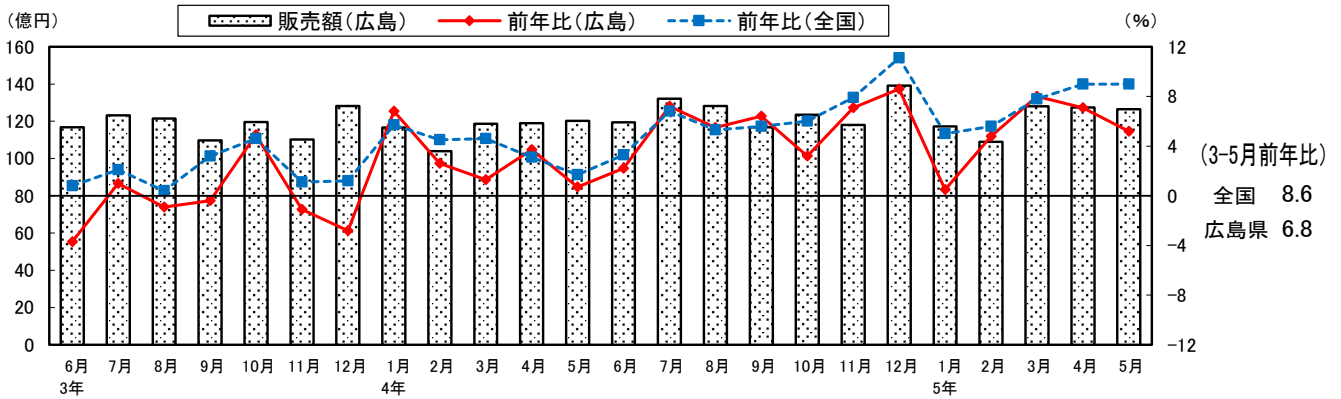
## (3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



## (4) 家電大型専門店販売額(全店舗)

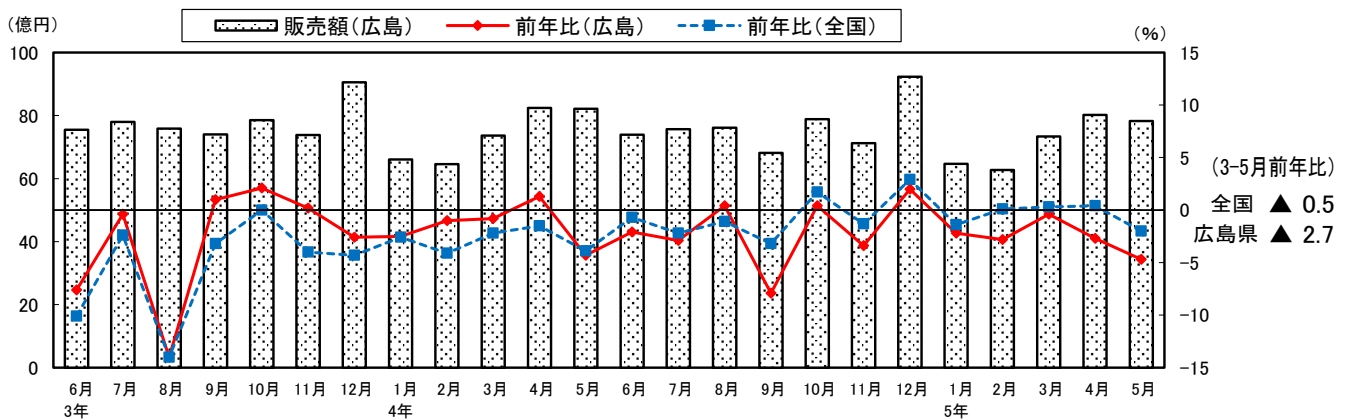


(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



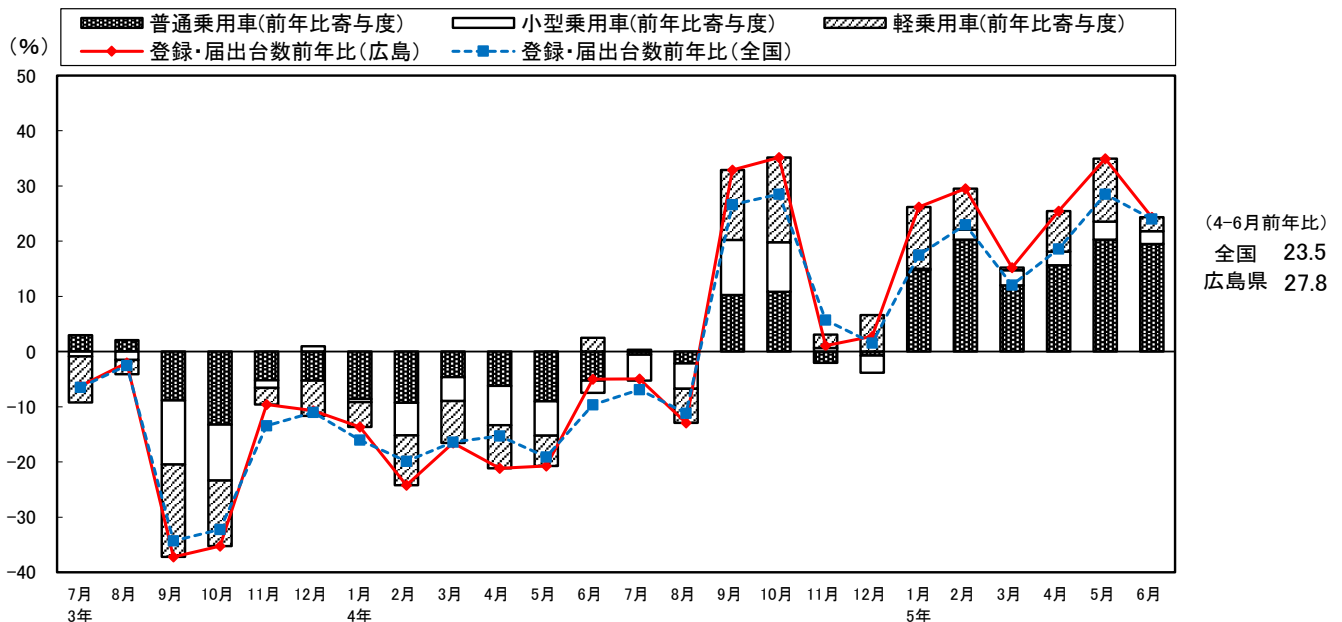
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

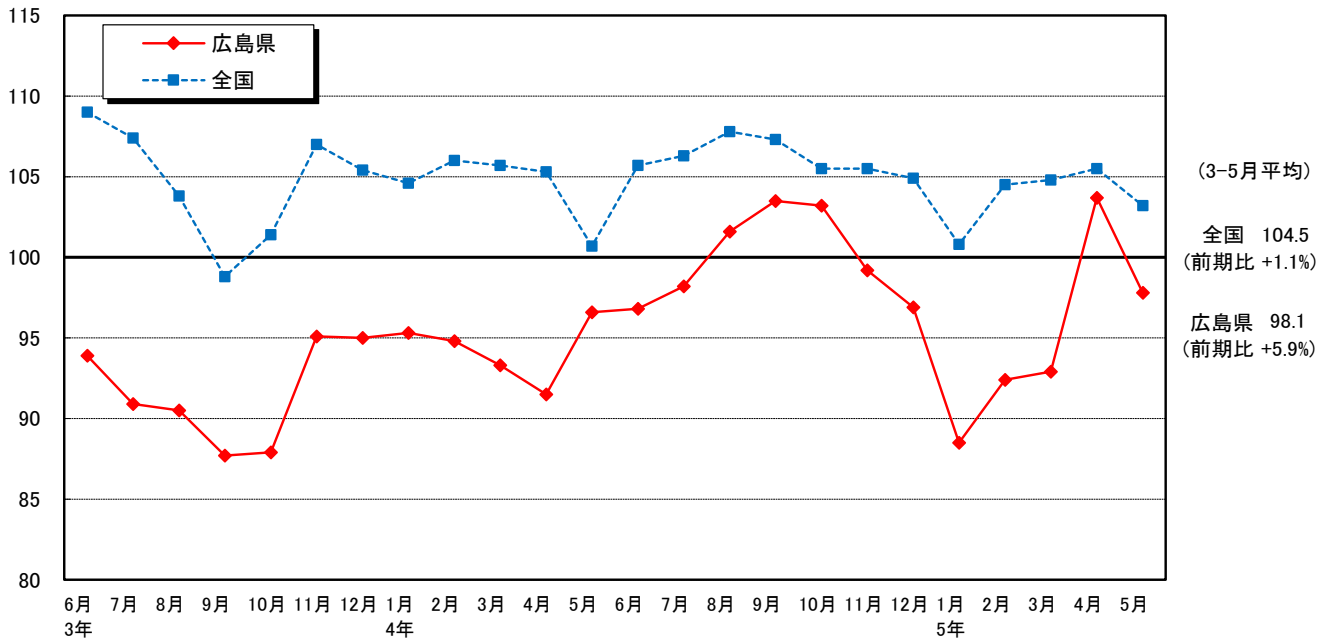


(資料出所: 中国運輸局)

## 2. 生産活動 緩やかに持ち直しつつある

### (1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

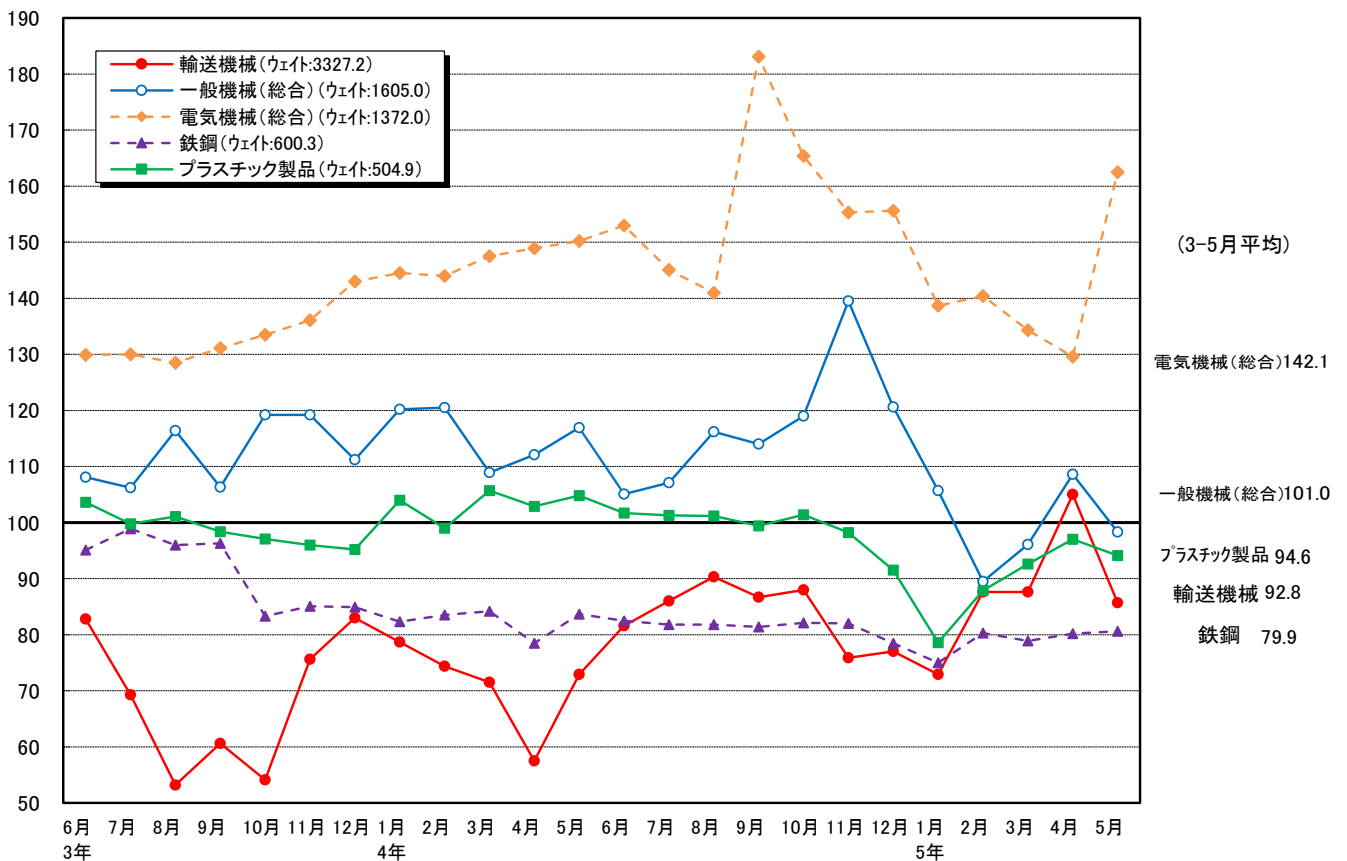
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

### (2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

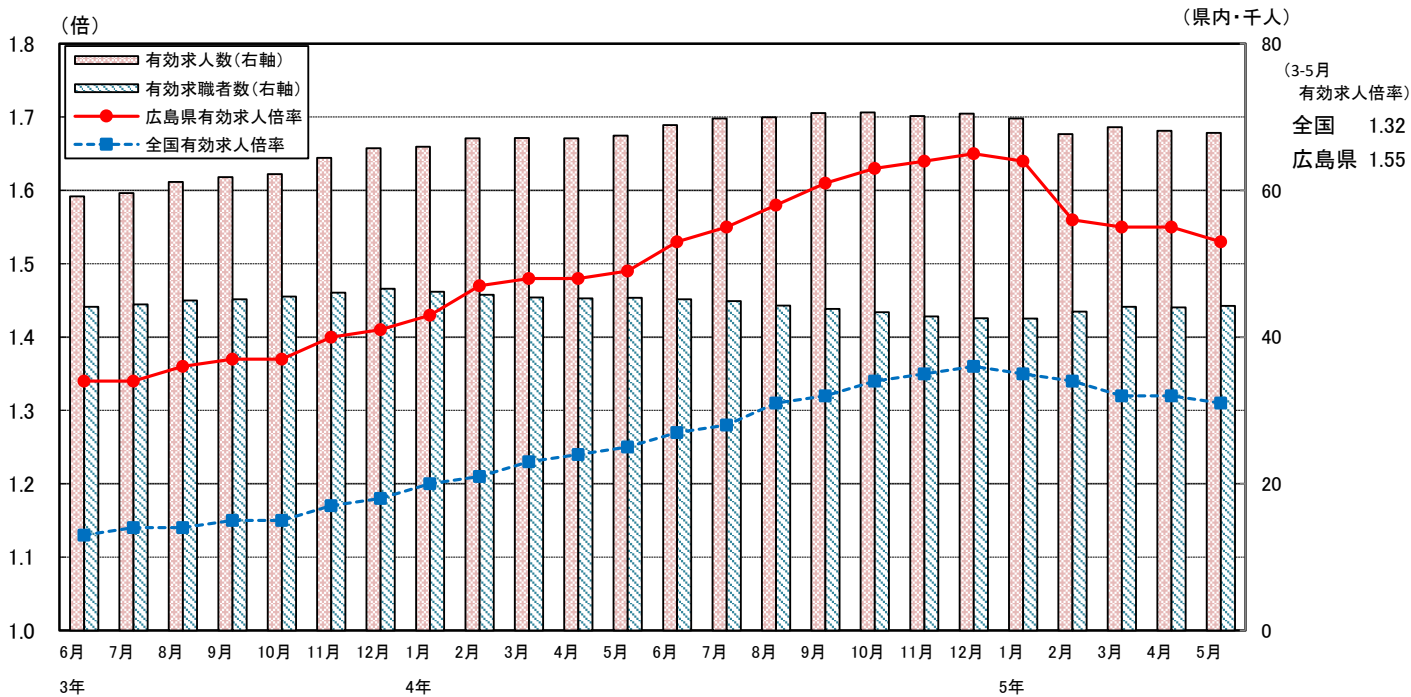


(資料出所: 広島県)



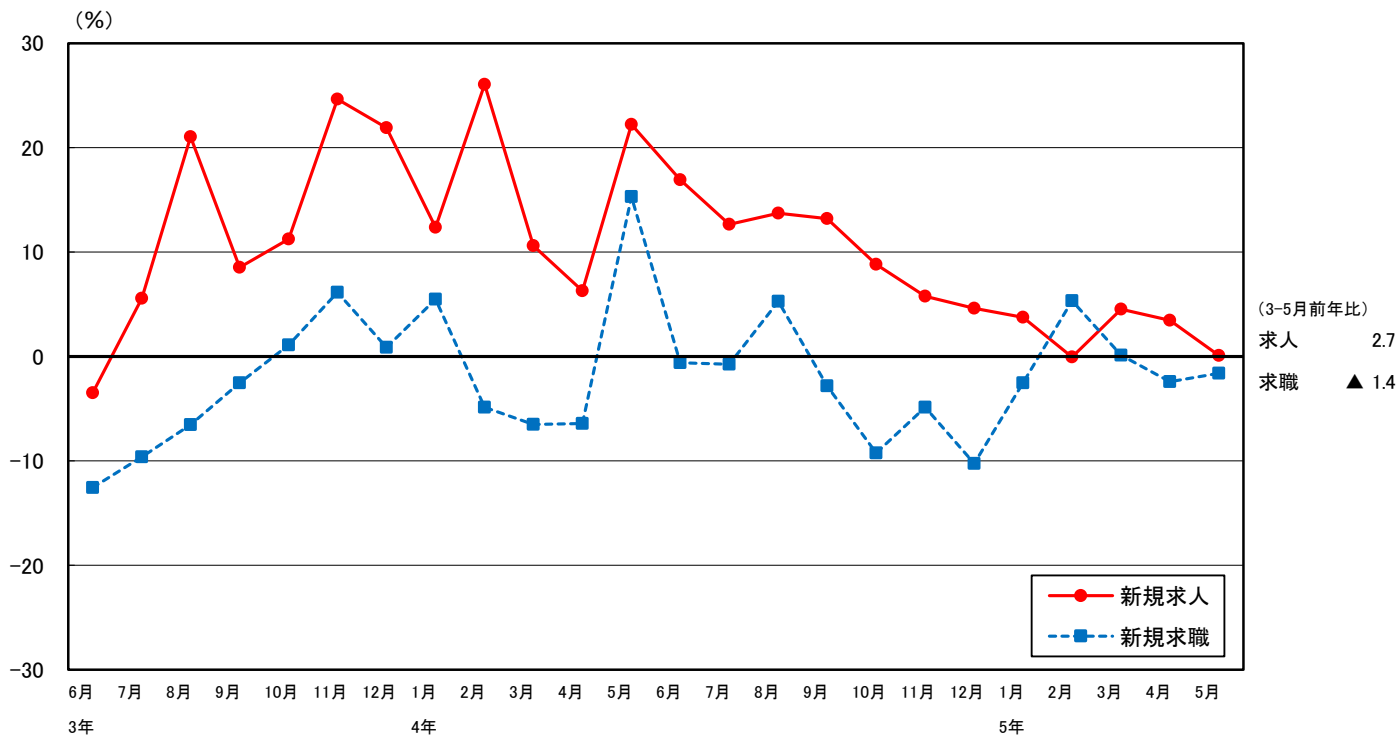
### 3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、広島労働局)

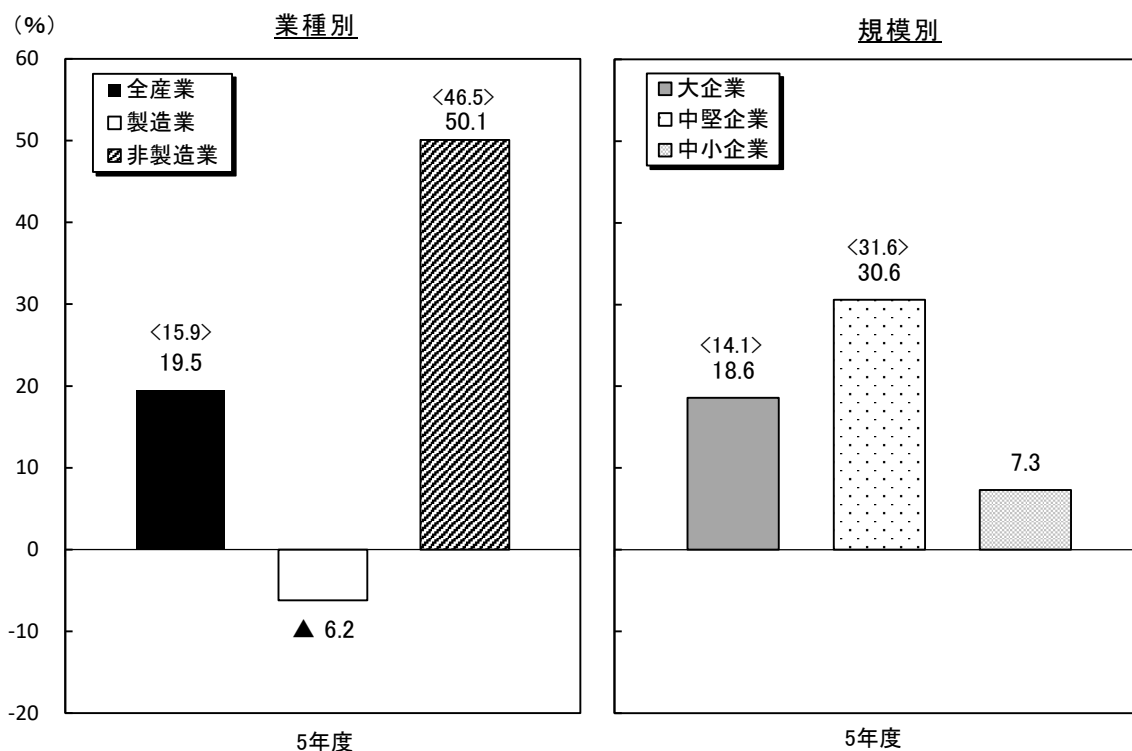
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所: 広島労働局)

#### 4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

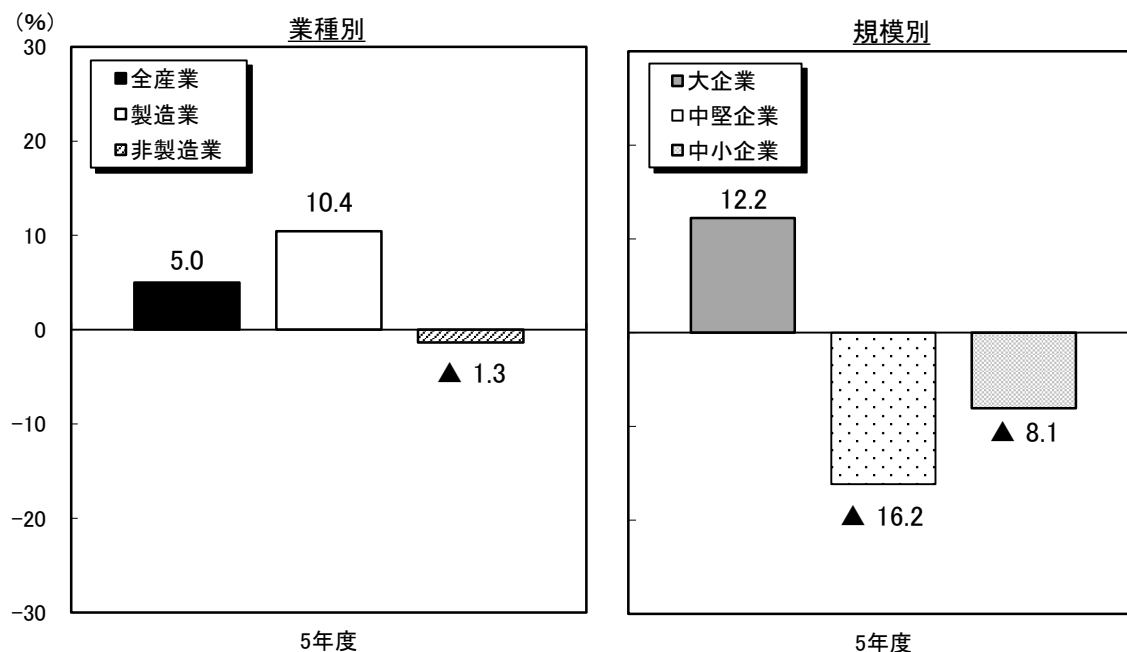


< >書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

#### 5. 企業収益 5年度は増益見込み

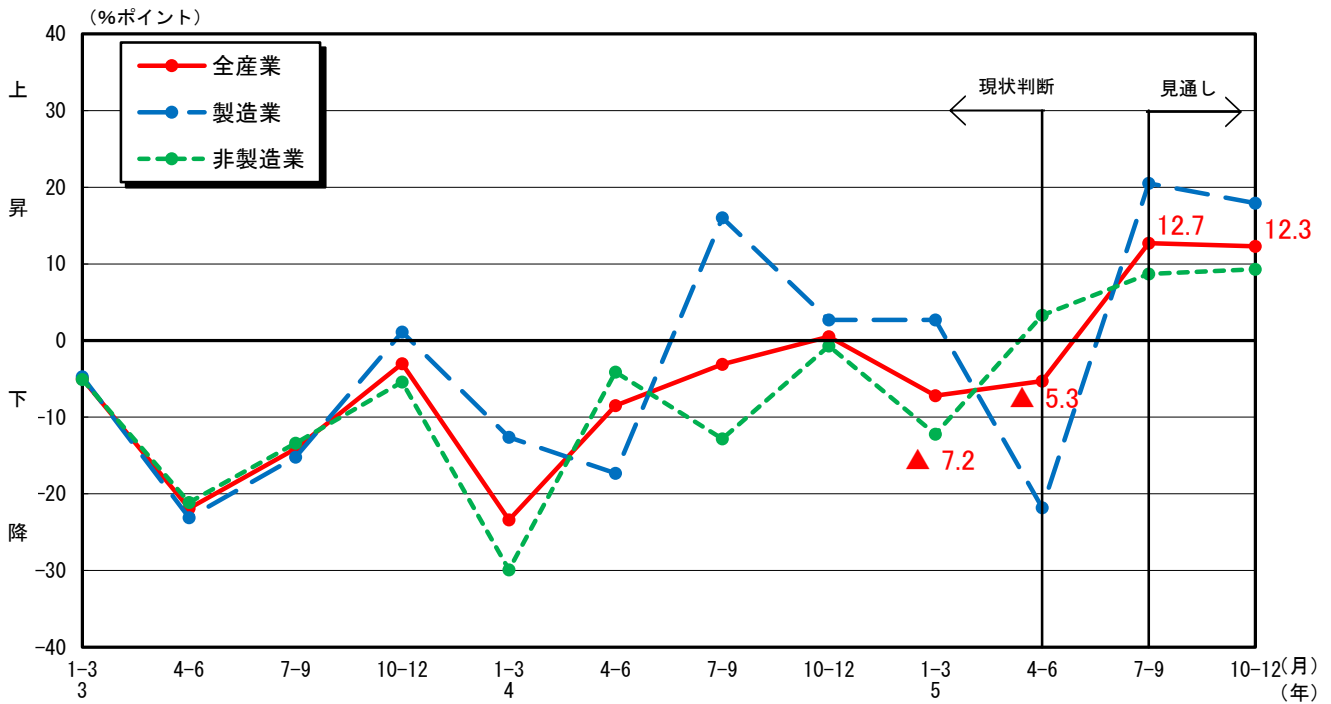
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

## 6. 企業の景況感 「下降」超幅が縮小している

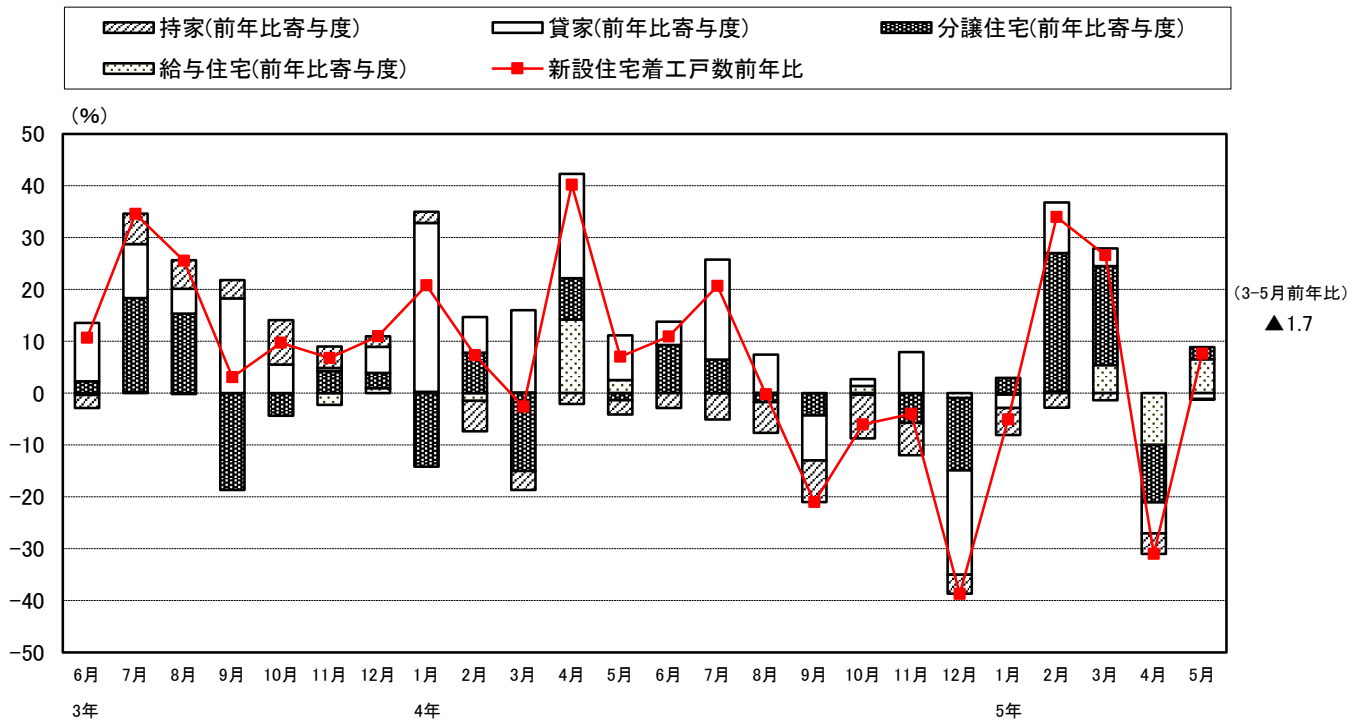
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

## 7. 住宅建設 前年を下回る

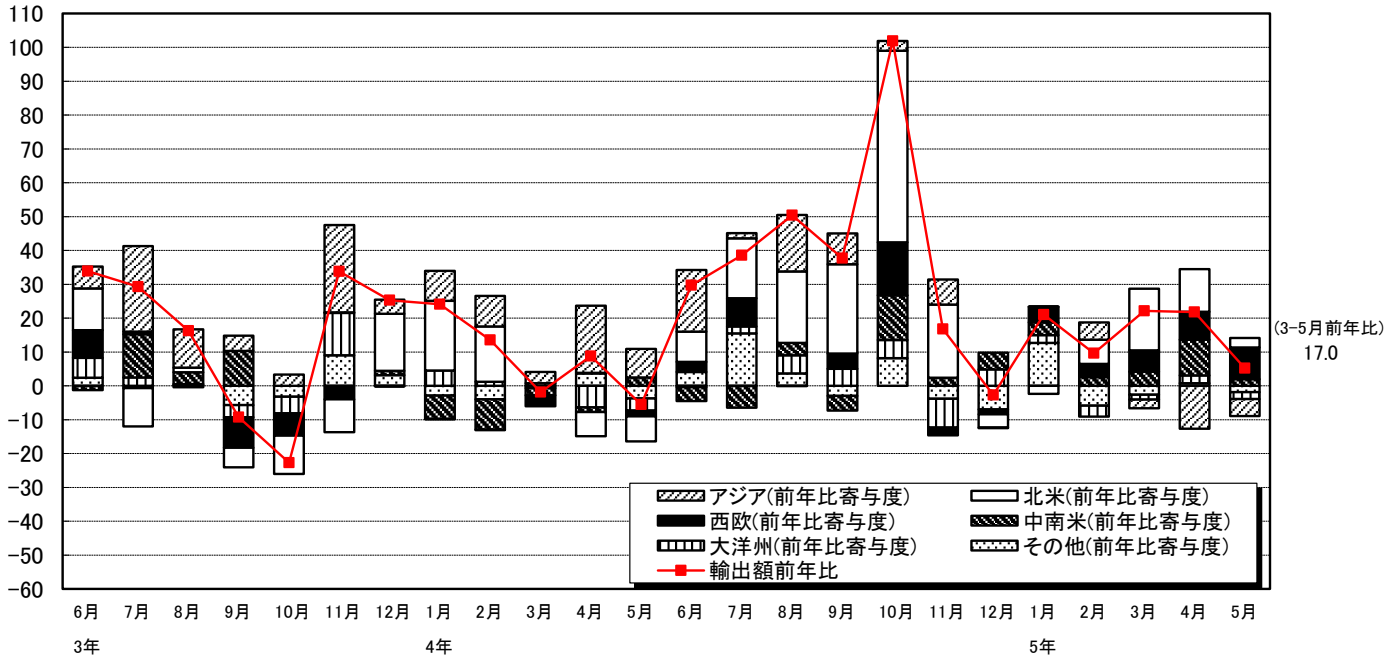
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

## 8. 輸出 前年を上回る

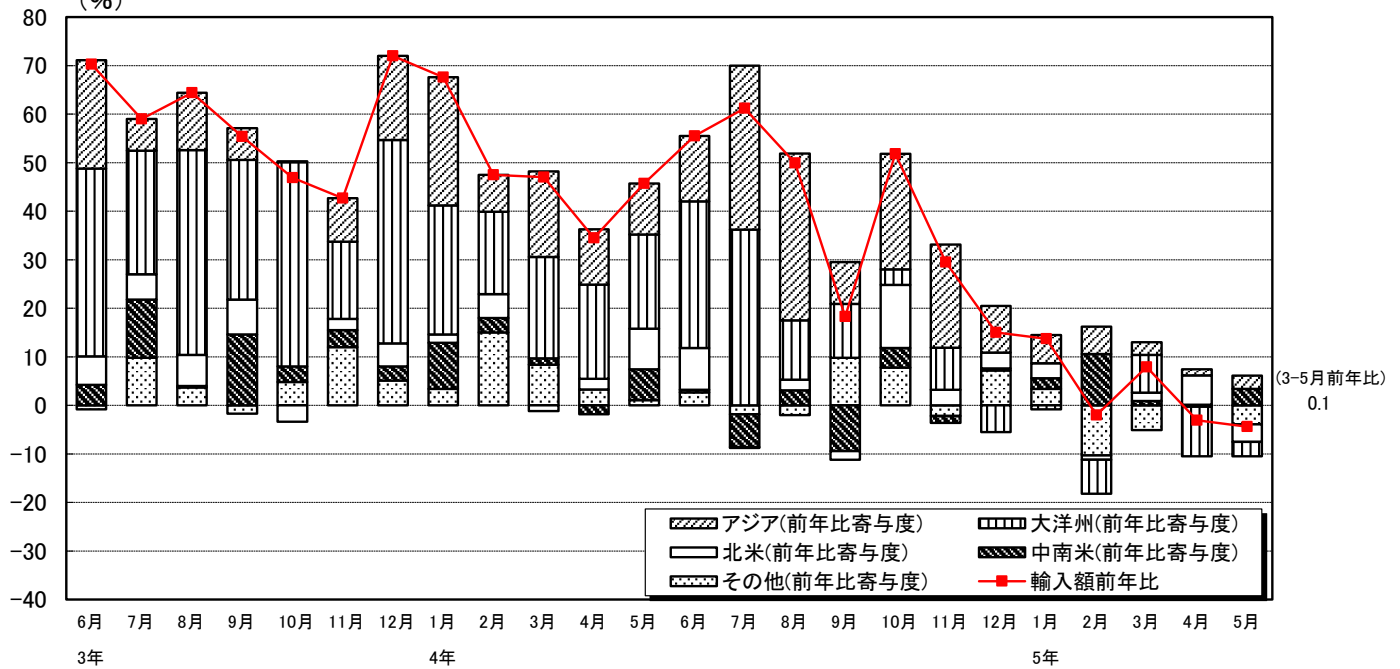
輸出(円ベース)  
(%)



(資料出所: 神戸税関)

### <参考>

輸入(円ベース)  
(%)



(資料出所: 神戸税関)